

# 声なき感染症を知る

◆69◆

中国湖北省武漢市で、昨年12月から原因不明の肺炎患者が報告されています。また発生したばかりで、ほとんど情報が無い状態ですが、現状で把握している情報や注意いただきたいこと及び地方衛生研究所の対応についてお話しします。

## ▽発生状況

ことし1月21日午前6時時点として厚生労働省から発表されている

したSARS(重症急性呼吸器症候群)や2012年に中東地域で見つかったMERS(中東呼吸器症候群)の原因ウイルスも、当時は新種とされたコロナウイルスでした。

## ▽感染経路

感染経路はまだよく分かっていません。最初の患者が、何から感染したのかも分かっていません。現時点では、家族間などの濃厚接触したヒト

# 新型コロナウイルスが原因 手洗いとマスク重要

患者数は、中国国内で218人、タイ2人、韓国1人で、日本国内でも1人発生しています。感染が始まった中国武漢市では198人発生しており、そのうち125人は軽症、44人が重症で、死亡が4例となっています。死亡者は、心臓や呼吸器に基礎疾患のある高齢者が多いようです。

## ▽原因病原体

一部の患者から「新種のコロナウイルス」が検出されており、調査が進められています。

なお新種のコロナウイルスという

ことでは、2002年に中国で出現

からヒトへの感染の可能性があるようですが、ヒトからヒトへ、さらにまたそのヒトからヒトへと次々感染するかどうかは、まだわかっていません。

なお、肺炎などの呼吸器症状が現れる感染症ですので、通常のインフルエンザなどのように飛沫感染(咳やくしゃみの飛沫などを受けて感染)や接触感染(触ったものから感染)などの一般的な感染経路への注意が必要です。

## ▽注意する点

過剰に神経質になる必要はありません

せんが、インフルエンザも流行する時期ですので、基本的な感染症対策(マスク、手洗い)が大切です。咳やくしゃみは手のひらで受けな

また武漢市から帰国した方は、咳や発熱等の症状がある場合には、マスクを着用し、事前に医療機関に連絡した上で、受診してください。また、受診時には、武漢市滞在歴があることを事前に申し出てください。

▽院内感染対策  
急性呼吸器感染症患者の診察時には、まず呼吸器症状を呈する患者本人に必ずサージカルマスクを着用させ、医療従事者は、診察時にサージカルマスクを含めた標準予防策を実施していることが前提です。

そのうえで、発症から2週間以内に①武漢市内を訪問した②武漢の原因不明肺炎の患者またはその疑いがある患者と2以内での接触歴がある③武漢市への渡航歴があり、発熱かつ呼吸器症状を有する人との接触歴があるのいずれかの曝露歴のある患者を診察する場合には、さらに、中国湖北省武漢市で報告されている新型コロナウイルス関連肺炎に対する対応と院内感染対策(国立感染症研究所、国立国際医療研究センター)を参考に院内感染対策を講じてください。

## ▽検査

現在は新型コロナウイルスの検査法が設定され、国立感染症研究所で病原体検査が行われています。さらに今後、検査法が厚生労働省から全国へ通知され、全ての都道府県市の地方衛生研究所で、早急に検査体制を整え、保健所からの検査依頼に備えることとなります。

実はこれまでも、SARS、MERS、2009年の新型インフルエンザやジカウイルスなどについても、地方衛生研究所では検査体制を整え対応してきました。今回も肅々と対応して参ります。

中国湖北省武漢市の位置(厚生労働省「重要なお知らせ」から抜粋)

